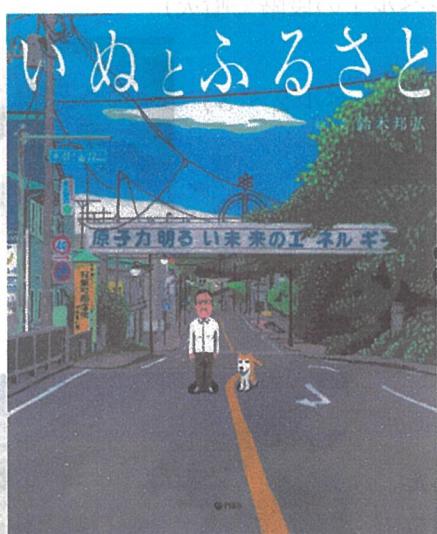
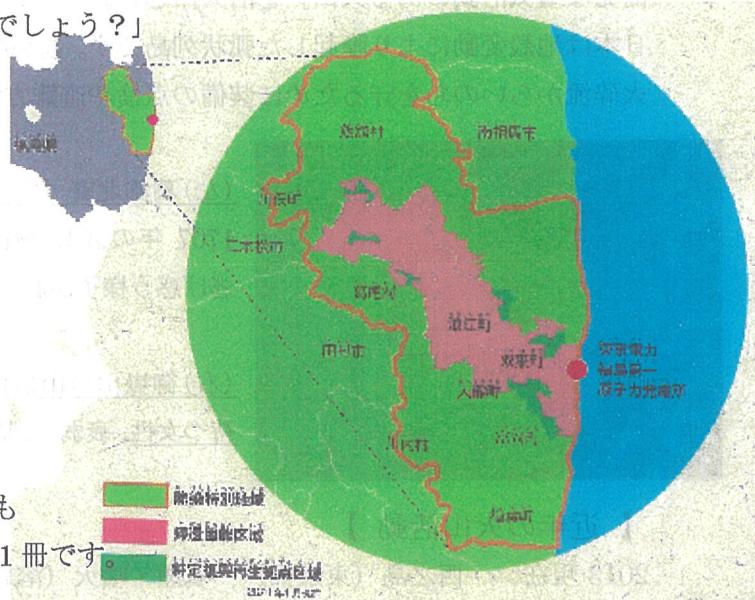


いなにことにされる私たち

読書の秋です。校内のビブリオバトルも終わり、読みたい本が増えている人もいることでしょう。

さて、福島第一原発事故から10年目の今年、政府は避難者数を4万人と発表する中で、各市町村が発表した避難者数7万人との大きな開きに何が起きているのか、その衝撃的な事実を明らかにした書籍が標題の「いなにことにされる私たち」です。副題には、福島原発事故10年目の「言ってはいけない真実」と記されています。

著者は朝日新聞社の青木美希さんです。記者の仲間たちから青木さんはこんな質問を受けるそうです。
 「復興が進み多くの人々が元の地域に戻っているのでしょうか？」
 しかし、10年たった今も、
 浪江町の住民の町への帰還率は5.4%
 です。いつの間にか、避難者の数から
 消されていると知って驚きと恐怖を
 感じている人たちのなんと多いことか、
 その事実に迫るために、著者は取材を重ねて、
 この書籍が発刊されたのです。東日本大震災での
 避難者は50万人でした。
 その一人一人にそれぞれの事情があり、
 今に至っています。私たちが震災を忘れないためにも
 正確な避難者数を知らなければならないと思わせる1冊です。



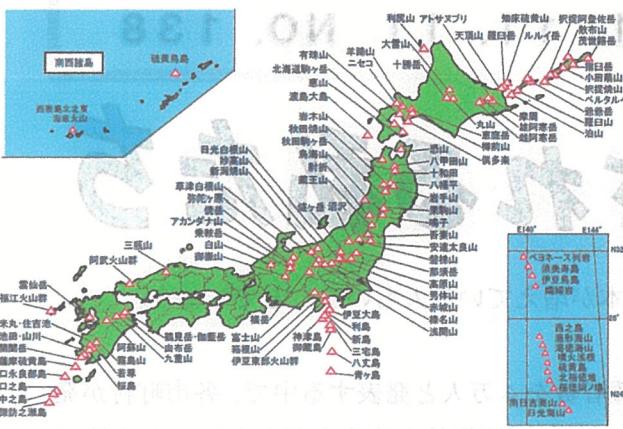
避難を強いられたのはかりではありません！

この絵本も読んでみてほしい1冊です

双葉町の住民の一時的な避難先はさいたまスーパーAリーナでした。そこにはたくさんの犬も一緒でした。やがて、犬などのペットは動物愛護センターに引き取られたものも、どこかの河川敷に捨てられたものもいます。この絵本の柴犬は、おじさんと暮らすことになりました。そして、ある日、故郷の変わり果てた姿を見る機会を得るのです。倒れたままの家、イノシシや猿が走る道路。黒い袋の汚染土が積み上げられているなど見慣れない風景。

2021年は噴火活動の活発化！今後も警戒が続く！

我が国の活火山の分布



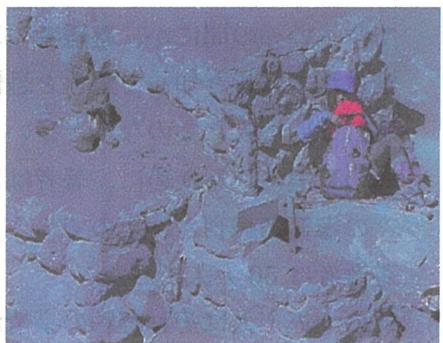
種別	名 称	対象範囲	レベルとキーワード		説明
			火山活動の状況	住長等の行動	
特別警報 （居住地帯）	噴火警報	居住地 域及び それより 火口側	level 5 避難		居住地帯に重大な被害を及ぼすに大きな可能性があるが避難している状態にある。
	又は 噴火警報	火口から 居住地 域近くまで	level 4 避難準備		居住地帯に重大な被害を及ぼす火口が発生すると予想される可能性が高まっている。
警報	噴火警報 (火口開き)	居住地 域附近まで	level 3 入山規制		居住地帯が小さくても重大な被害を及ぼす火口が発生する可能性がある。今後の火山活動の動向に注意し、入山規制等への対応して避難者の避難準備等。
	又は 火口開き警報	火口周辺	level 2 火口周辺規制		火口周辺に影響を及ぼす火口周辺に入った場合は命に危険がかかる。火口火災、あるいは火口周辺で火災が発生すると予想される。
予報	噴火予報	火口内等	level 1 噴火であることに留意		火山活動止。火口周辺の状況によって、火口内で火災が発生する場合に備えられた場合に注意がある。
					過去の生活。
					特になし。（状況に応じて火口への立入規制等）。

地殻変動により引き起こされた自然災害は地震・津波だけではありません。2021年に目立ったのは、火山活動ではないでしょうか。気象庁・火山噴火予知連絡会は「過去1万年以内に噴火した火山及び、現在活発な噴気活動のある火山」を**活火山**と定義しています。日本では現在**111箇所**が選定されています。日本は地殻変動により隆起した弧状列島です。豊かな山の自然を楽しむ登山のさなかでも、ガスや噴石、火碎流からいのちを守るために装備の点検や避難方法を充分に考えたほうがいいでしょう。



(左)葛飾北斎「宝永山出現」のカット

1707年の富士山噴火による火山礫から逃げ惑う様子がわかる。



(右)御嶽山の山頂付近の台座で救助を待つ女性。衰弱し、周囲は火山灰だらけ。

【近年の火山活動】

2013-現在 西之島（東京都） 噴煙・噴火（溶岩流発生）の繰り返し

2014年9月 御嶽山（長野県・岐阜県）水蒸気爆発・噴火（警戒レベル1の段階で噴火）

噴石による戦後最悪の人命被害（登山者58人死亡）

2015年5月 白永良部島（鹿児島県屋久島町）噴火、火碎流（噴火警戒レベル2～5）

2018年1月 蔵王山（宮城県・山形県） 火山性微動（噴火警戒レベル2）



2021年4月 桜島（鹿児島県） 噴煙・噴火（噴火警戒レベル3）

2021年8月 福徳岡ノ場（小笠原諸島）海底噴火による新島が出現

2021年10月 阿蘇山（熊本県） 噴煙・噴火（噴火警戒レベル3）

大量の軽石が沖縄県に漂着↑↑



(左)硫黄島に現れた沈没船

度重なる地殻変動で海底が隆起した。



(右)火口から噴煙をあげる阿蘇山